

麻布台ヒルズ(森JPタワー／ガーデンプラザA・B・C)



外観

タワーをはじめ複数の建築群から成る「麻布台ヒルズ」。整備された緑地の中、「緑に包まれ、人と人をつなぐ「広場」のような街-Moder Urban Village-」を開発コンセプトとして、2023(令和5)年に開業した。



森JPタワー 基準階
オフィスフロア

麻布台ヒルズの中核となる超高層ビル「森JPタワー」のオフィスフロアは、1フロア約4,800㎡という国内最大級の貸室面積を誇る。グローバル企業の多様なニーズにこたえる国際水準のオフィス環境が実現されている。



森JPタワー 基準階
女性トイレ 洗面コーナー

オフィスの共用部は「上質なスタンダード」をキーワードにデザイン。エントランスに用いられたガラス大庇を想起させる三角形の大理石モザイクタイルを壁面に貼り、空間に華やかさと変化をもたらしている。



森JPタワー 基準階
女性トイレ
スタイリングコーナー

スタイリングコーナーには、隣人の視線が気にならない位置に、顔全体を美しく照らし、化粧直しがしやすいLED照明付鏡を設置。また、多数のワーカーが利用できる棚タイプの小物入れも完備している。



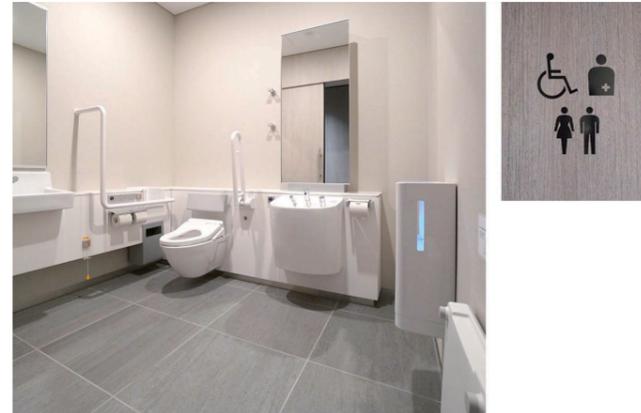
森JPタワー 基準階
男性トイレ 洗面コーナー

男性トイレの内装も女性トイレと同じイメージの誂え。ペッセル式の洗面器と、非接触で手洗いできる自動水栓と自動水石けん供給栓を設置している。



森JPタワー 基準階
男性トイレ
小便器コーナー・
大便器ブース

小便器は、シンプルなデザインと節水機能を両立した壁掛型の小便器ユニットを採用。大便器は、床の清掃性がよい壁掛式の大便秘器ユニットを設置し、各トイレで1ヶ所のブースにL型手すりを設けている。



森JPタワー 基準階
バリアフリートイレ

バリアフリートイレは、車いす使用者やオストメイトに対応できる設備を完備。さらに、性別問わず利用できることを示すピクトグラムを掲示している。



森JPタワー 基準階
トイレサイン

遠くからも見つけやすい、突き出しのサイン。男性、女性トイレとバリアフリートイレがひと目でわかるように、ピクトグラムを色分けしている。



森JPタワー ヒルズハウス
内観

「ヒルズハウス」は、企業の垣根を超えワーカーが集うクラブハウスのような場として開設された、企業に勤める人々を対象にした会員制エリア。ラウンジ、カフェテリア、会議室、個室ブースなどで構成される。



森JPタワー ヒルズハウス
女性トイレ
洗面・
スタイリングコーナー

洗面・スタイリングコーナーは、「セミパブリックゾーン」と位置づけ、ヒルズハウスの内装と調和する素材や色調が用いられている。クリーンドライ(ハンドドライヤー)は、吸引・高速両面タイプを設置している。



森JPタワー ヒルズハウス
女性トイレ
大便器コーナー

木目調の明るく温かな印象が連続する内装。大便器は、床の清掃性がよい壁掛式の大便秘器ユニットを採用し、非接触で洗浄できるセンサースイッチを設置している。



森JPタワー ヒルズハウス
女性トイレ
レディースルーム

新たな試みとして設置した「レディースルーム」は、洗面器とソファを備えた個室。女性の健康問題からくる体調不良や着替え、歯みがき、搾乳などのさまざまな行為に配慮。ひとりになれる空間で心身のケアができる。

麻布台ヒルズ（森JPタワー／ガーデンプラザA・B・C）



森JPタワー ヒルズハウス
男性トイレ

リラックスできるよう間接照明を多用した空間。小便器は、シンプルなデザインで清掃性にも優れたマイクロ波センサー壁掛小便器ユニットを採用。空間デザインに調和させた、プライバシー配慮の間仕切りを設けている。



森JPタワー ヒルズハウス
バリアフリートイレ

車いす使用者に配慮して、汚物流しを備えたバリアフリーユニットを設置。性別を問わずに利用できるよう、入口の扉には、色分けをしない男女のピクトグラムを表示している。



森JPタワー ヒルズハウス
プレイヤーズルーム（祈禱室）

ムスリムの方が礼拝するための部屋として、プレイヤーズルーム（祈禱室）を設置。約2m角の最小限のスペースで、手足を洗い、拭いて、祈るといった動線がスムーズにできるように配慮されている。



ガーデンプラザA B1F
トイレ入口

B1F駅前広場から続くガーデンプラザAのB1～2Fは商業施設となっている。そのB1Fにあるトイレは、右側に男性トイレ、女性トイレとバリアフリートイレ、左側には、授乳室を配置している。



ガーデンプラザA B1F
トイレサイン

各トイレの入口には、トイレ内の設備がひと目でわかるようピクトグラムで表示。サインのデザインは、施設内で共通している。



ガーデンプラザA B1F
女性トイレ 洗面コーナー

洗面コーナーには、非接触で手洗いできる自動水栓と自動水石けん供給栓を用意。さらに、手洗い後の床への水垂れを抑えるため、洗面器の間にクリーンドライ（ハンドドライヤー）を設置している。



ガーデンプラザA B1F
女性トイレ
スタイリングコーナー

隣人の視線を気にせずに化粧直しができるように、仕切りを設けたスタイリングコーナー。顔を明るく照らす照明、荷物が置ける二段のカウンター、ゴミ箱も用意されている。



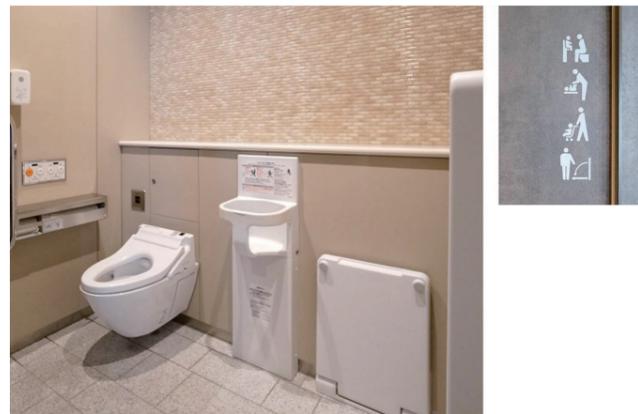
ガーデンプラザA B1F
男性トイレ 洗面コーナー

女性トイレ同様に、洗面コーナーには、自動水栓や自動水石けん供給栓のほか、隣人の視線が気にならないように個別鏡を採用している。



ガーデンプラザA B1F
男性トイレ
小便器コーナー・
大便器ブース

床の清掃性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器と、連続洗浄可能な壁掛大便器セット・フラッシュバルブ式を設置。さらに、お子様連れに配慮して、大便器ブースにベビーチェアを用意している。



ガーデンプラザA B1F
男性トイレ 広めのブース

男性トイレ内に、ベビーカーのまま入ることができ、ベビーシートやベビーチェア、フィッティングボードを備えた広めのブースを1ヶ所設置している。



ガーデンプラザA B1F
バリアフリートイレ

商業施設のバリアフリートイレは、車いす使用者やお子様連れ、オストメイトなどさまざまな利用者に対応できる設備を完備した、コンパクトバリアフリーイレバックを設置している。



ガーデンプラザA B1F
授乳室

商業施設を訪れる乳幼児連れに配慮し、授乳室を設置。洗面コーナーやおむつ交換台、ベビーチェア、フィッティングボードなどが用意されている。

麻布台ヒルズ（森JPタワー／ガーデンプラザA・B・C）



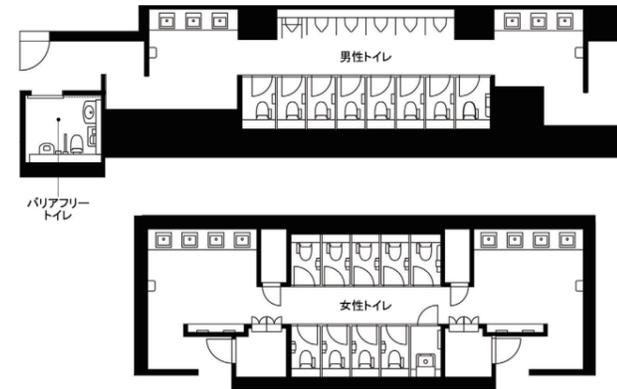
ガーデンプラザB 2F
男女共用トイレ

ガーデンプラザBには、男性・女性トイレとは別に、性別を問わず多様な利用者に配慮した個室完結型の男女共用トイレを設置。ベビーチェアやフィッティングボードのほか、クリーンドライ（ハンドドライヤー）も完備した。



ガーデンプラザB・C B1F
チームラボボーダレス

森ビルデジタルアート ミュージアム：エブソン チームラボボーダレスが麻布ヒルズに、移転開業した。「地図のないミュージアム」を標榜。アートに没入していくように、複数の新作をはじめとする作品群が展示される。



森JPタワー 基準階
トイレ図面

オフィス基準階のトイレ。男性トイレ、女性トイレは、両方向に通抜け可能な二方向出入りのレイアウト。バリアフリートイレも設置されている。また、男性トイレの大便器ブースは、混雑に配慮し多めに設置している。



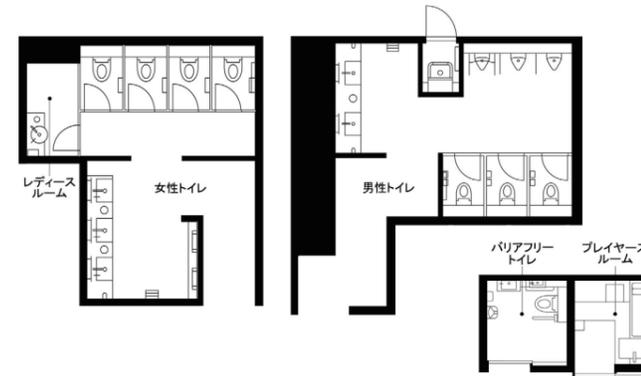
ガーデンプラザB・C B1F
女性トイレ 洗面コーナー

色鮮やかな展示を鑑賞した後に目と心を休ませるため、トイレの内装は漆黒の世界。黒を基調にした空間に、白い洗面カウンターと器具類が浮かび上がり、徹底した無彩色の世界となっている。



ガーデンプラザB・C B1F
男性トイレ 洗面コーナー

洗面コーナーには、自動水栓と自動水石けん供給栓、クリーンドライ（ハンドドライヤー）を設置。クリーンドライは、風の吹き返しや飛散を抑制する吸引式を採用している。



森JPタワー ヒルズハウス
トイレ図面

創造的な働き方を実現するための拠点となるヒルズハウスには、女性トイレ、男性トイレに加え、バリアフリートイレとプレイヤーズルーム（祈禱室）が用意されている。



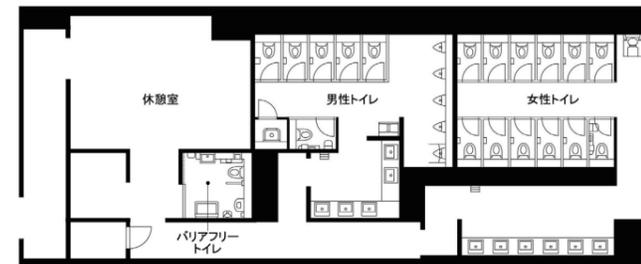
ガーデンプラザB・C B1F
男性トイレ
小便器コーナー・
大便器ブース

小便器は、壁掛型の小便器ユニットを採用し、1ヶ所を手すり付きとしている。大便器は、連続洗浄可能な壁掛式の大便器ユニットを設置している。荷物配慮として、ライニングもしっかり確保されている。



ガーデンプラザB・C B1F
バリアフリートイレ

使いやすさと同時に空間としての統一感のあるデザインのフラットカウンター。バリアフリーユニットを採用。車いす使用者やお子様連れ、オストメイトなど、さまざまな利用者に対応できる設備を完備している。



ガーデンプラザB・C B1F
トイレ図面

チームラボボーダレスのトイレは、男性トイレ、女性トイレと、休憩所近くにバリアフリートイレを配置している。

水まわりの特長

建物の特徴

「麻布台ヒルズ」は、東京都港区麻布台の約8.1haの広大なエリアに、タワーとして日本一の高さ（約330m）の森JPタワーをはじめ、超高層レジデンス、ホテル、商業施設、インターナショナルスクールなどが立ち並ぶ巨大再開発プロジェクト。開発コンセプトは「緑に包まれ、人と人をつなぐ「広場」のような街 - Modern Urban Village -」。「Green」と「Wellness」を柱に、自然と調和した空間に多様な人々が集まり、より人間らしく生きられる新しいコミュニティの形成を目指す。都心の真ん中で「LEED」認証の最上位であるプラチナランクを「森JPタワー」と「街区全体」の2つの分野において取得予定。「WELL」認証は最高位のプラチナランクを取得。新しい都市の豊かさを世界に先駆けて東京から提案していく。

水まわりの特長

オフィスエリアは、さまざまなワーカーやグローバル企業のニーズにも対応できる国際水準仕様を提供。創造的な働き方を実現するための拠点となる会員制のヒルズハウスでは、礼拝する方のために、お清めができる足洗い場を設けたプレイヤーズルームや女性のさまざまな心身のケアに対応するレディースルームを女性トイレに備えている。基準階トイレは「上質なスタンダード」をキーワードに、性別問わず利用できるバリアフリートイレや、女性トイレにスタイリングコーナーや小物入れを配備。器具は、節水性能に加え使用感を重視して選定している。また、商業エリアのトイレは、さまざまな利用者に配慮し、男女トイレ、バリアフリートイレとは別に性別問わず利用できる男女共用トイレや、授乳室を用意している。

建築概要

| | |
|-------|---|
| 名称 | 麻布台ヒルズ（森JPタワー／ガーデンプラザA・B・C） |
| 所在地 | 東京都港区麻布台1-3-1 ほか |
| 事業主 | 虎ノ門・麻布台地区市街地再開発組合 |
| 設計 | 森ビル株式会社（麻布台ヒルズ） 株式会社日本設計（森JPタワー、ガーデンプラザC） 株式会社山下設計（ガーデンプラザA・B） |
| 内装設計 | 株式会社日本設計（森JPタワー基準階） 有限会社ジャモアソシエイツ（ヒルズハウス） ヘザウィック・スタジオ（ガーデンプラザA） 株式会社入江三宅設計事務所、チームラボアーキテクト株式会社（チームラボボーダレス） |
| 施工 | 建築 清水建設株式会社（森JPタワー・ガーデンプラザC） 株式会社大林組（ガーデンプラザA・B） 衛生 斎久工業株式会社（森JPタワー、ガーデンプラザA・B・C） |
| 竣工年月 | 2023年6月（森JPタワー、ガーデンプラザA・B） 2023年9月（ガーデンプラザC） |
| 敷地面積 | 約63,900㎡（麻布台ヒルズ） |
| 建築面積 | 約37,100㎡（麻布台ヒルズ） |
| 延床面積 | 約861,700㎡（麻布台ヒルズ） |
| 構造・階数 | 鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造・ 地下5階、地上64階（森JPタワー） 地下2階、地上3階（ガーデンプラザA） 地下3階、地上8階（ガーデンプラザB） 地下4階、地上2階（ガーデンプラザC） |

おもなTOTO使用機器

- 大便器ユニット:UTNCBD、UTNCAB
- 壁掛大便器セット・フラッシュバルブ式:UAXC2CL2BN、UAXC2CR2BN
- ウォシュレット アプリコットP（擬音装置「音姫」付きエコリモコン）:TCF5831Y
- ウォシュレット アプリコットP（温風乾燥付きエコリモコン）:TCF5841P
- ウォシュレットPS（擬音装置「音姫」付きエコリモコン）:TCF5524Y、TCF5504P
- ウォシュレットP:TCF587Y
- 小便器ユニット:XPUTNUFN、UTNUBN
- 自動洗浄小便器:UFS900JCS
- 洗面器ユニット:UTNLJF
- 台付自動水栓:TLE25SS1A
- 自動水石けん供給栓:TLK08S0*JA
- クリーンドライ（ハンドドライヤー）:TYC430WJ、TYC420W
- バリアフリーユニット:XPUTNDXD、UTNDBA
- コンパクトバリアフリートイレバック:UADBK系